

女性の意見を農政へ ～農業者との意見交換会～



登米市農業委員会は7月22日、上沼ふれあいセンターで女性農業者との意見交換会を初めて開催した。委員会では、今回の意見等を取りまとめて市の農業政策に提言する。

女性農業者8名と農業委員など14名が出席し、「これからの農業について思うこと」について協議した。

同市豊里町の土井まきのさん（52）が自己紹介で「この場に同じ女性がいるだけでほっとする」と口火を切ると、参加者から「パートはどのように探しているのか」、「農機具の扱いで気をつけていることはあるか」と質問が上がり始めた。

同市迫町の岩崎とみ子さん（57）からは、「今の農業政策を理解しても改正で内容が一から変わる。行政は種をまくだけで作物ができると考えているのではないか。根本から変更することは絶対やめてもらいたい」との意見や、同市米山町の鹿野昭子さん（61）



からは「後継者のための環境づくりが大切。この課題を解決することが、経営の安定に繋がり、これからの農業を支えると思う」など会が進むにつれて活発に意見が交わされた。



【記事提供：登米市農業委員会】